

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(世界ランクシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0509

(注)本稿は 2020 年 6 月 23 日から7月 19 日まで 10 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2020.7.21
前田 高行

吸い上げる米国と中国、吐き出す日本:UNCTAD「世界投資レポート2020年版」

(世界ランクシリーズ その9 2020年版)

目次	頁
1. FDI インバウンド(直接投資流入額)	
(1) 2019年の FDI インバウンド(直接投資流入額)	2
(2) 2012-2019年の FDI Inflows(FDI インバウンド)の推移	3
2. FDI アウトバウンド(FDI outflows, 対外直接投資)	
(1)2019年の FDI outflows(FDI アウトバウンド)	4
(2)主要国の FDI Inflows(FDI インバウンド)と FDI Outflows(FDI アウトバウンド)の差	5
(3)2012-2019年の対外投資額(FDI アウトバウンド)の推移	6
3. FDI Inward Stock (FDI インバウンド残高)	
(1)2019年末の FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高)	7
(2)1990-2019年末の FDI Inward Stock の推移	8
4. FDI Outward Stock (FDI アウトバウンド残高)	
(1)2019年末の FDI Outward Stock (FDI アウトバウンド残高)	9
(2)1990-2019年末の FDI Outward Stock の推移	10

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第9回の世界ランクは、UNCTAD(国連貿易開発会議)が毎年刊行する世界各国の直接投資(FDI)に関する報告書の最新版「World Investment Report 2020」をとりあげました。(詳細は下記参照)
<https://unctad.org/en/pages/PublicationWebflyer.aspx?publicationid=2769>

「World Investment Report 2020」について

UNCTADの「World Investment Report 2020」は、外国直接投資(Foreign Direct Investment, 以下FDI)の最新の状況を世界規模で調査分析した報告書であり対象となっている国は200以上に達する。

本稿ではFDI inflows、FDI outflows、FDI inward stock 及び FDI outward stock の2010年～2019年のデータを取り上げ、上位5か国、日本、米国、中国など世界主要国のほか、中東の主要国について各国の直接投資の現状を比較することとする。

なお本稿では上記それぞれの英語表記の訳語を以下の通りとする。

FDI inflows:	FDI インバウンド
FDI outflows:	FDI アウトバウンド
FDI inward stock:	FDI インバウンド残高
FDI outward stock:	FDI アウトバウンド残高

1. FDI インバウンド(FDI Inflows, 直接投資流入額)

(世界の投資資金の2割を吸い上げる米国！)

(1)2019年の FDI インバウンド(FDI Inflows, 直接投資流入額)(末尾表 9-T01 参照)

2019年の世界のFDIインバウンド総額は1兆5,400億ドルであった。流入額が最も多かったのは米国であり、金額ベースでは2,460億ドル、世界全体の16%を占めている。米国1国だけで実に全体の2割近い投資を吸い上げている。米国に次いで流入額が多いのは中国の1,400億ドル(9%)であり、米国と中国の2カ国で世界のFDIインバウンドの4分の1を占めている。

米国、中国以外の各国は1千億ドル以下である。3位から5位までに名を連ねているのは、シンガポール(920億ドル)、オランダ(840億ドル)及びアイルランド(780億ドル)であり、その他主要な国を見ると、インドは500億ドル(世界10位)、ドイツは360億ドル(世界12位)、ロシアは320億ドル(世界17位)である。日本のFDIインバウンドは150億ドルで世界で24番目に多い。

中東各国のFDI流入額を見ると、イスラエル及びUAEはそれぞれ180億ドル及び140億ドルであり、イスラエルは日本より多く(世界22位)、UAEは日本よりやや少ない世界26位である。これら2カ国以外の中東諸国はエジプト(90億ドル)、トルコ(84億ドル)、サウジアラビア(46億ドル)のように

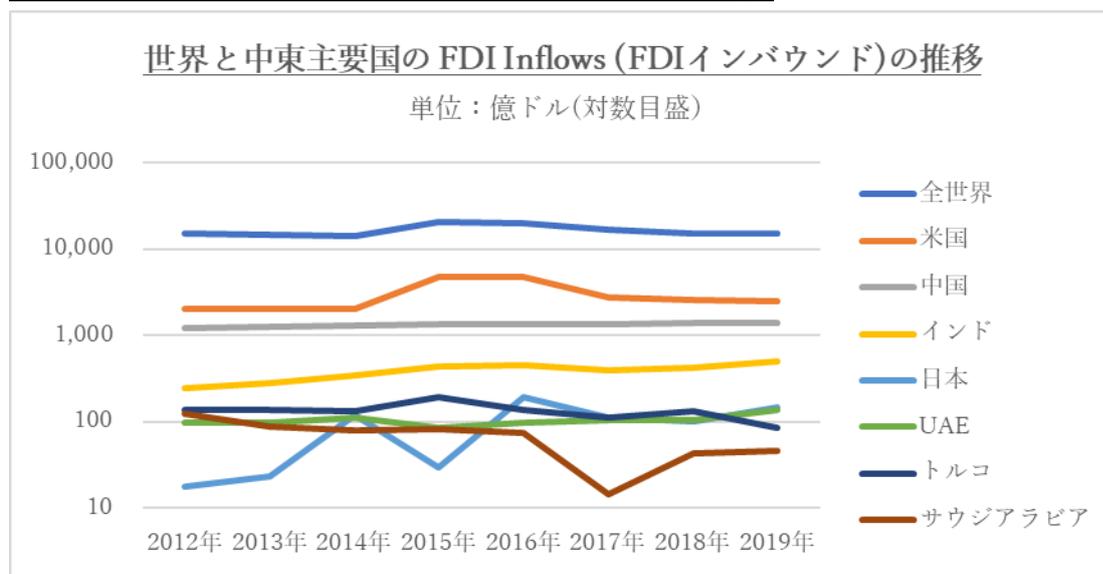
いずれも100億ドル以下であった。因みにイランの FDI 流入額は15億ドルにとどまっております、米国の経済制裁の影響が強く表れている。

FDI インバウンドの金額及び世界ランクを前年(2018年)と比較すると、1位米国、2位中国は変わらない。但し米国は3%、金額にして74億ドル減少し、一方中国は29億ドル(2%)増加しており、両国の差は縮小している。日本の2018年流入額は99億ドルであり、今回は5割近く増え、世界ランクも31位から24位にアップしている。これに対してドイツは前年に比べ370億ドル、率にして5割と大幅に減少している。

中東諸国は2018年比で FDI 流入額の増加した国と減少した国が混在している。UAE は34億ドル増加したのに対し、イスラエルは26億ドル減少している。サウジアラビアは金額ではわずかに増加しているが順位は46位から49位に下がっている。イランは2018年の24億ドルから9億ドル、4割近く減少している。またトルコも対前年比で45億ドル減少、金額、順位ともに UAE に逆転されている。

(増勢を示す日本、凋落傾向のサウジアラビア！)

(2) 2012-2019年の FDI Inflows(FDI インバウンド)の推移



2012年から2019年までの世界と中東主要国の FDI Inflows の推移を示したのが図9-G01である(単位億ドル、対数目盛)。

2012年の全世界の FDI Inflows の総額は 1兆4,900億ドルであった。その後2年間はわずかに減少したが、2015年は前年比1.5倍の2兆ドルに達した。但しその後は再び減少し、2019年の FDI Inflows は1兆5,400億ドルでほぼ2012年のレベルに戻っている。

世界最大の投資流入国である米国は、2012年の1,990億ドルから2015,16年には4,700億ドルに膨らんだが、その後再び2千億ドル台に戻っている。2019年は2,500億ドルで2012年の1.2倍であった。米国に次ぐ中国は2012年の1,211億ドルから2019年には1,412億ドルと

1. 2倍弱に増加している。この間、ほぼ毎年2~5%の安定した成長を遂げている。

インドと日本を比べると2012年の流入額は日本が17億ドル、インドは242億ドルであった。その後、インドの FDI Inflows は中国を上回るペースで拡大しており、2019年の流入額は2012年を2倍強上回る506億ドルを記録している。日本も全期間を通じてみれば増加傾向にあるが、23億ドル(13年)→120億ドル(14年)→30億ドル(15年)→194億ドル(16年)→110億ドル(17年)→99億ドル(18年)→146億ドル(19年)と各年の変動幅が大きい。

トルコ、サウジアラビア、UAE の中東3カ国の2012年の FDI Inflows はそれぞれ137億ドル、122億ドル及び96億ドルであり、3カ国に大きな差はなかった。しかしその後、UAE は増加傾向を示し2019年には138億ドルの投資を呼び込んでいる。トルコも2018年までは毎年100億ドル以上の投資が流入しており常に3カ国の中ではトップを維持してきた(2019年のみ UAE がトップ)。サウジアラビアは2013年以降毎年投資流入額が減少しており、特に2017年は14億ドルまで落ち込んでいる。2018, 19年は少し持ち直しているがそれでも40億ドル台にとどまっており、トルコあるいは UAE の2分の1乃至3分の1にとどまっている。

2. FDI アウトバウンド(FDI Outflows, 対外直接投資)

(日本が2年連続で世界一の投資家！)

(1)2019年の FDI outflows(FDI アウトバウンド) (末尾表 9-T02 参照)

2019年の世界の FDI Outflows(アウトバウンド)の総額は1兆3,100億ドルであった。流入額が最も多かったのは日本であり、金額ベースでは2,270億ドル、世界全体の17%を占めている。日本に次いで流入額が多い米国とオランダが1,250億ドル(9.5%)で並んでいる。第4位は中国(1,170億ドル)、第5位ドイツ(990億ドル)である。これら上位5カ国が FDI Outflows 全体に占める割合は53%に達しており、直接投資の資金供給源が一部の富裕国に集中していることがわかる。

5位のドイツ以下は投資額が1千億ドル以下であるが、韓国は355億ドルで世界10位の資金供給国である。またロシアとインドの FDI Outflows 額はそれぞれ225億ドル及び121億ドルである。中東の主要国では UAE が最も多い159億ドルであり、世界で20番目に Outflows が大きい国である。またサウジアラビアの FDI アウトバウンドは132億ドルでインドを上回っている。UAE、サウジアラビア以外で中東の主要な対外投資資金の供給国はイスラエル(86億ドル)、トルコ(28億ドル)などである。これに対してエジプトの FDI Outflows は4億ドルにとどまり、イランの場合は1億ドルを下回っている。イランは米国の経済制裁のため対外投資もままならないようである。

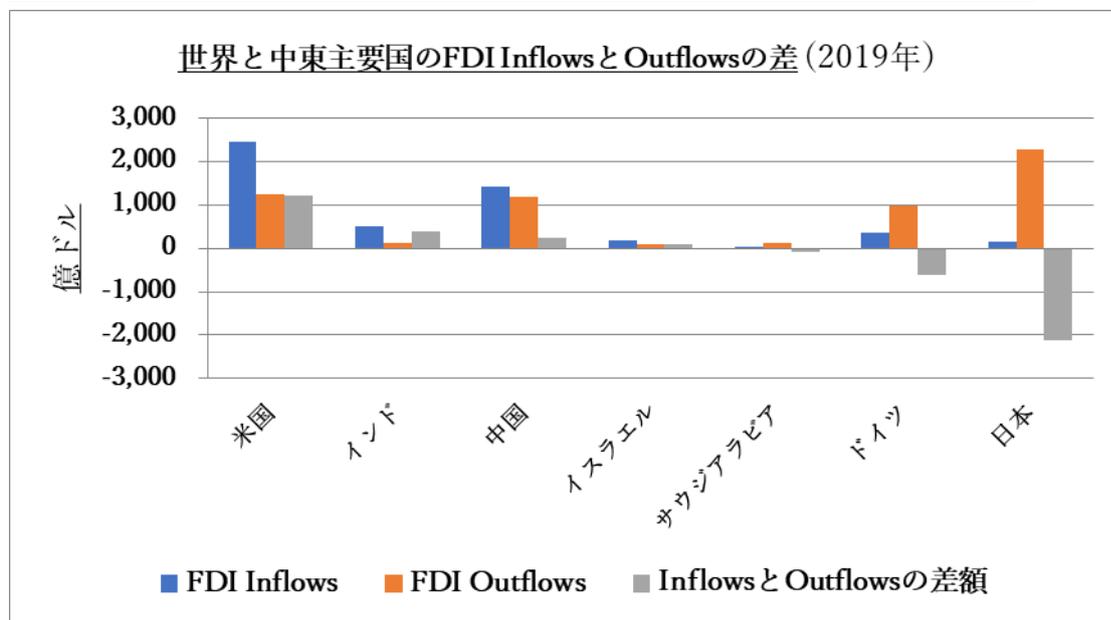
2019年の FDI Outflows 総額は前年(2018年)の9,900億ドルに比べ3,300億ドル、33%の大幅な増加であった。日本は1,430億ドルで2年連続で世界一である。一方、米国の前年の FDI Outflows は▲906億ドルであった。Outflows がマイナスであることは、動燃は過去の海外投資の引き揚げが新規の投資を上回ったことを意味している。

中国及びドイツは2018年の Outflows でも世界2位と5位を占めており、日本と並ぶ資金の供給源である。2018年の対外投資額が3,600億ドルであったロシアの2019年の対外投資額は4割近く減少しているが、FDI Inflows は2.4倍拡大している(前章参照)。このことからロシアでは2019年は国内外の投資資金が国内に向かったことをうかがわせる。

中東の主要国では UAE の Outflows は2年連続150億ドル台で安定している。サウジアラビアは2018年の230億ドルから2019年は4割減少しており、一方イスラエルは4割増加している。両国の投資家の姿勢は対照的である。また金額は小さいがトルコもサウジアラビア同様2019年の対外投資は前年を2割下回っている。イランの2018年の対外投資は7,500万ドルであり、2年連続で極めて低い水準である。

(資本の動きが活発なイスラエルと UAE !)

(2)主要国の FDI Inflows (FDI インバウンド)と FDI Outflows(FDI アウトバウンド)の差



米国、インド、中国、イスラエル、サウジアラビア、ドイツ及び日本の7か国の FDI インバウンド (FDI Inflows、1-(1)参照)と FDI アウトバウンド(FDI Outflows、2-(1)参照)を比べると各国ごとの特徴が見受けられる。

米国、インド、中国、イスラエルの4カ国は FDI Inflows(FDI インバウンド)が FDI Outflows(FDI アウトバウンド)を上回っている。即ち資本の純流入国である。これに対してサウジアラビア、ドイツ、日本の3カ国は FDI アウトバウンドが FDI インバウンドを上回る資本の純流出国である。前者は直接投資を世界から吸い上げ、一方後者は世界へ向けて吐き出していると言えよう。

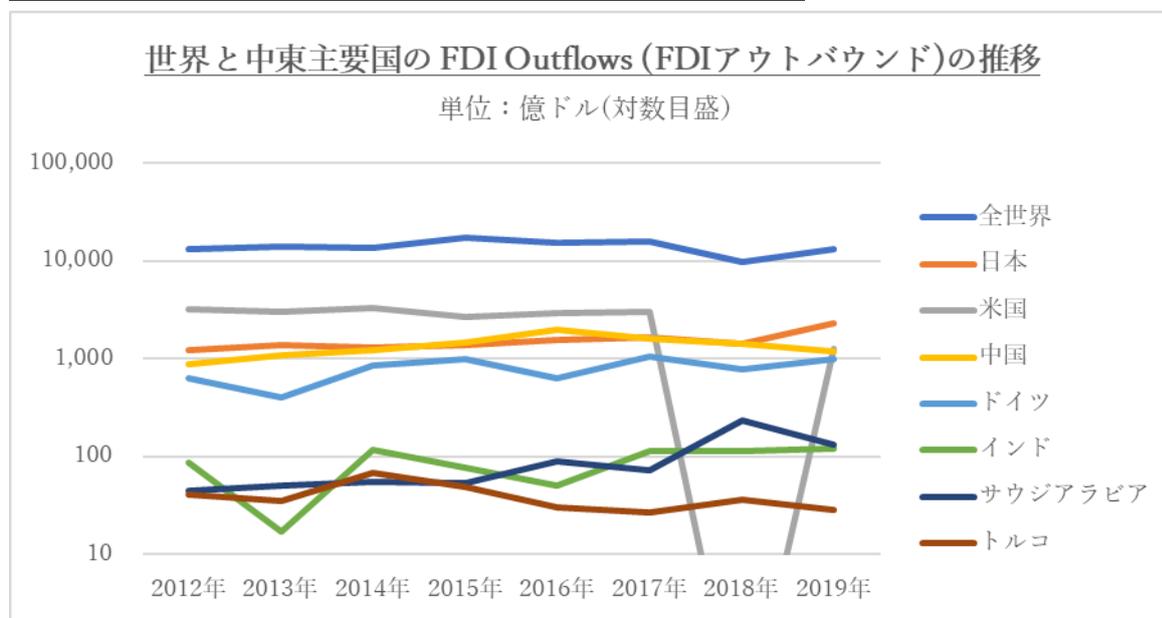
米国は FDI Inflows 2,460億ドルに対し Outflows はその半分の1,250億ドルにとどまっており、差引純流入額は1,210億ドルである。米国と対照的なのが日本であり、Inflows が150億ドルに対し、Outflows は2,270億ドルに達する。差引2,120億ドルの純流出である。ドイツも日本と同様 Outflows が Inflows を上回り620億ドルの純流出となっている。

FDI Inflows が世界2位で Outflows が世界4位の中国は両者がバランスしており241億ドルの流入超過となっている。インドはこれら3か国に比べて FDI Inflows(506億ドル)、FDI Outflows(121億ドル)とも金額は少ないが、Inflows が Outflows の4倍以上であるため差引純流入額は384億ドルで中国よりも多い。

中東の投資大国であるサウジアラビアとイスラエルを比較すると、イスラエルは FDI Inflows が Outflows を上回る直接投資の純流入国である。これに対してサウジアラビアは Outflows が Inflows を上回る直接投資の純流出国である。イスラエルには同国の先端技術を対象に外国資本が流入し、一方投資の魅力に乏しいサウジアラビアは外国からの投資が少なく、国内資本も外国投資に目が向いているようである。

(2017 年までトップを続けた米国、対外投資額を競う日本と中国！)

(3) 2012-2019年の対外投資額(FDI アウトバウンド)の推移



2012年以降の世界の FDI Outflows (FDI アウトバウンド) 総額の推移を見ると、2012年の1.3兆ドルから2015年には1.7兆ドルに膨張している。しかしその後3年間は減少し続け、2018年には1兆ドルを割っている。2019年は回復して1.3兆ドルと2012年の水準に戻っている。

世界及び中東の主要7カ国(日本、米国、中国、ドイツ、インド、サウジアラビア及びトルコ)のこの間の動きを見ると、米国は2012年から2017年までの6年間、毎年3千億ドル前後の対外投資を続け2位以下を大きく引き離す世界の対外投資国であった。2018年は▲900億ドルであり、これは2017年以前の投資の本国(米国)への還流が多く発生し、2018年の対外投資額を大幅に上回ったためである。2019年は再び対外投資が活発になり、日本に続く1,250億ドルの FDI アウトバウンドとなっている。

日本の2012年の FDI Outflows は1,230億ドルであり、2013年から2015年までは1,300

億ドル台を維持した。2016年、2017年は1,600億ドル前後の Outflows があり、世界のベスト5以内にランク付けされている。2018年は1,432億ドルに減少、2019年は過去8年間で最高の2,300億ドルに増加、両年とも世界一の対外投資国である。

中国の対外投資額は2012年に880億ドルであったが、2013年以降は1千億ドルを突破、2016年には1,960億ドルに達し、その後は減少しているものの、2019年は1,170億ドルで1千億ドル台を維持している。この間、日本と激しい順位争いを繰り返しており、2015年及び2016年の対外投資額は日本を上回る水準であった。ドイツは2013年の395億ドルから2017年の1,041億ドルまで金額的に振れがあるが、2013年以外は毎年世界の上位10カ国に入っており安定している。

インドとサウジアラビアを比較すると2012年の FDI Outflows はインドが85億ドル、サウジアラビアは44億ドルであった。その後は両国とも直接投資は増加傾向にあり、インドは2017年以降100億ドルを超える水準で推移している。サウジアラビアは2017年まで毎年100億ドル未満であったが、2018年は230億ドルに急増、2019年は132億ドルの Outflows を記録しており、インドを上回っている。トルコの FDI Outflows は2012年がサウジアラビアとほぼ同じ41億ドルであり、その後2014年まではサウジアラビアと足並みを揃えていたが、2015年以降は減少傾向に歯止めがかからない。2019年には28億ドルにとどまっており、サウジアラビア(132億ドル)の5分の1にとどまっている。

3. FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高)

(世界で3番目に高い投資残高を有する香港！)

(1) 2019年末の FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高) (末尾表 9-T03 参照)

2019年末の世界の FDI インバウンド残高(FDI Inward Stock)は総額36兆ドルである。2018年末の残高は33兆ドルであり、1年間で残高は3.5兆ドル(11%)増加している。2019年末の残高が最も多い国は米国の9.5兆ドルであり、全世界の26%を占めている。米国一国だけで世界の直接投資の4分の1を吸い上げている。これに次ぐ FDI インバウンド世界2位は英国の2兆ドル、3位香港(1.9兆ドル)、4位中国(1.8兆ドル)、5位オランダ(1.7兆ドル)である。

香港は英国植民地時代以来東洋の金融センターとして確固たる地位を保ち、中国への返還後も一国二制度を許されて、社会主義経済の中国と自由主義経済の欧米を橋渡しする金融の拠点となっている。この長い歴史が高い FDI インバウンド残高の要因である。但し、中国政府が香港への介入を強化し、これに対して欧米各国の警戒感が強くなっており、今後も東洋の金融センターとしての名声を維持できるか問題含みである。実際、2018年と比べた場合上位5か国のうち香港を除く4カ国はいずれもインバウンド残高が増加しているが、香港のみは2018年より5%近く減少しており、世界ランクも2位から3位に転落している。

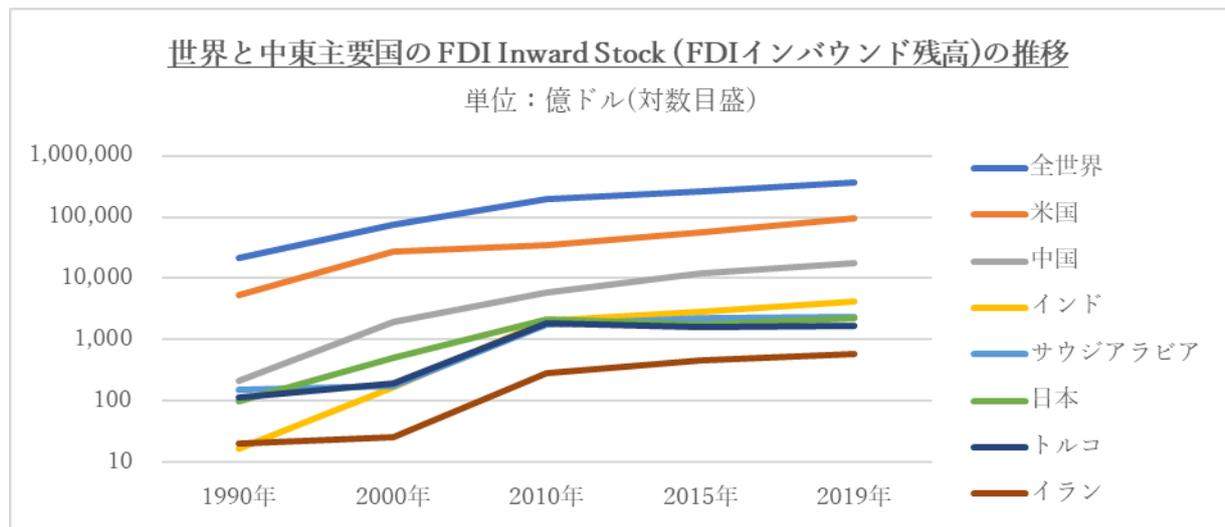
上位5カ国以外の主な国の残高を見ると、ドイツの2019年末 FDI Inward Stock は9,500億ドルで世界10位、米国の10分の1である。ロシアとインドの残高はそれぞれ4.6兆ドル、4.3兆ドルで

あり、世界ランクでは20位前後につけている。日本の FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高)は2.2兆ドルであり全世界に占める割合は0.6%、世界30位にとどまっている。日本の残高は米国の40分の1である。

中東諸国の中で2019年末の残高が最も多いのはサウジアラビアの2,360億ドルであり、これは日本よりも多い。サウジアラビアに続くのはイスラエル(1,660億ドル)、トルコ(1,650億ドル)、UAE(1,540億ドル)、エジプト(1,270億ドル)である。イランの FDI インバウンド残高はこれら各国より一桁少ない570億ドルにとどまっている。前年(2018年)末残高と比較した場合、イスラエル、トルコ、及び UAE はいずれも140~210億ドル増加している。これに対してサウジアラビアは50億ドルの増加にとどまり、イランの場合はわずか15億ドルの増加に留まっており、いずれも世界ランクが下がっている。

(40年間に全世界で17倍に増加したインバウンド残高！)

(2) 1990-2019年末の FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高)の推移



ここでは1990年末から2019年末までの全世界並びに主要経済大国(米国、中国、日本、インド)及び中東3か国(サウジアラビア、トルコ、イラン)の FDI Inward Stock(FDI インバウンド残高)の推移を概観する。

世界全体の1990年末の FDI インバウンド残高は2.2兆ドルであった、その後2000年末には3.4倍の7.4兆ドル、2010年末には19.9兆ドルに増加、2019年末の残高は36兆ドルを超えている。全世界の FDI インバウンド残高は1990年から2019年までのほぼ30年間に17倍に膨張している。

国ごとに見ると世界最大の残高を誇る米国は1990年末の残高5,400億ドルが2000年末には5倍の2.8兆ドルに急増、2000年代は増加率が鈍ったが2010年代に入ると再び急拡大し、2019年末の残高は9.5兆ドルに達している。1990年からの30年間の伸び率は世界全体とほぼ同じ18倍であった。

日本の FDI インバウンド残高は、99億ドル(1990年末)→500億ドル(2000年末)→2,100億ドル(2010年末)→2,200億ドル(2019年末)であり、30年間の伸び率は世界平均を若干上回る2.3倍である。年代別に見ると1990年代及び2000年代は4~5倍の大幅な伸びを示したが、2010年代はほとんど残高が増えていない。

これに対して中国の残高の推移は、200億ドル(1990年末)→1,900億ドル(2000年末)→5,900億ドル(2010年末)→1.8兆ドル(2019年末)と1990年代は9倍、2000年代及び2010年代も10年間で3倍の大幅な伸びを示しており、かつて1990年末に米国の30分の1でしかなかったインバウンド残高は、2019年末には5分の1まで縮まっている。

中国をさらに上回る急成長を遂げたのがインドである。1990年末以降のインドのインバウンド残高は、17億ドル(1990年末)→160億ドル(2000年末)→2,100億ドル(2010年末)→4,300億ドル(2019年末)であり、2000年代は10年間で13倍に急成長し、2010年代には日本を追い越している。

サウジアラビア、トルコ及びイランの中東3か国を比較すると、1990年末の残高はサウジアラビア152億ドル、トルコ112億ドルであり、イランは20億ドルに過ぎなかった。3か国の FDI インバウンド残高は2000年代に急成長し、2010年末のトルコの残高は1,900億ドル、サウジアラビア1,800億ドル、イランは300億ドルであった。3か国はいずれもこの10年間に10倍以上増加している。2010年代の増加率はそれまでより大きく減速し、トルコの2019年末の残高は2010年末を下回っているほどである。全世界の残高が1.8倍、米国、中国が3倍増加しているのに比べ2010年代の中東諸国のインバウンド残高は増加していない。

4. FDI Outward Stock(FDI アウトバウンド残高)

(2018年より大幅に伸びた米国と日本の残高！)

(1) 2019年末の FDI Outward Stock(FDI アウトバウンド残高) (末尾表 9-T04 参照)

2019年末の世界の FDI アウトバウンド残高(FDI Outward Stock)は総額35兆ドルである。2018年末の残高は32兆ドルであり、1年間で残高は3兆ドル(10%)増加している。2019年末の残高が最も多い国は米国の7.7兆ドルであり、全世界の22%を占めている。これに次ぐのはオランダの2.6兆ドル、3位中国(2.1兆ドル)、4位英国(1.9兆ドル)、5位日本(1.8兆ドル)である。

これら5か国のうちオランダと英国は世界各国からの資金がハーグとロンドンの金融機関に集まりそれが対外直接投資に向けられていると考えるべきであろう。そして中国と日本はそれぞれの国内に蓄積された資金であり、トップの米国は両者が混在していると考えられる。

上位5か国以外の主な国の残高を見ると、ドイツの2019年末 FDI Outward Stock は1.7兆ドルで世界7位、米国の20%強である。韓国とロシアの残高はそれぞれ4,400億ドル及び3,900億ドルであり、世界ランクでは20位前後につけている。インドの2019年末の FDI アウトバウンド残高

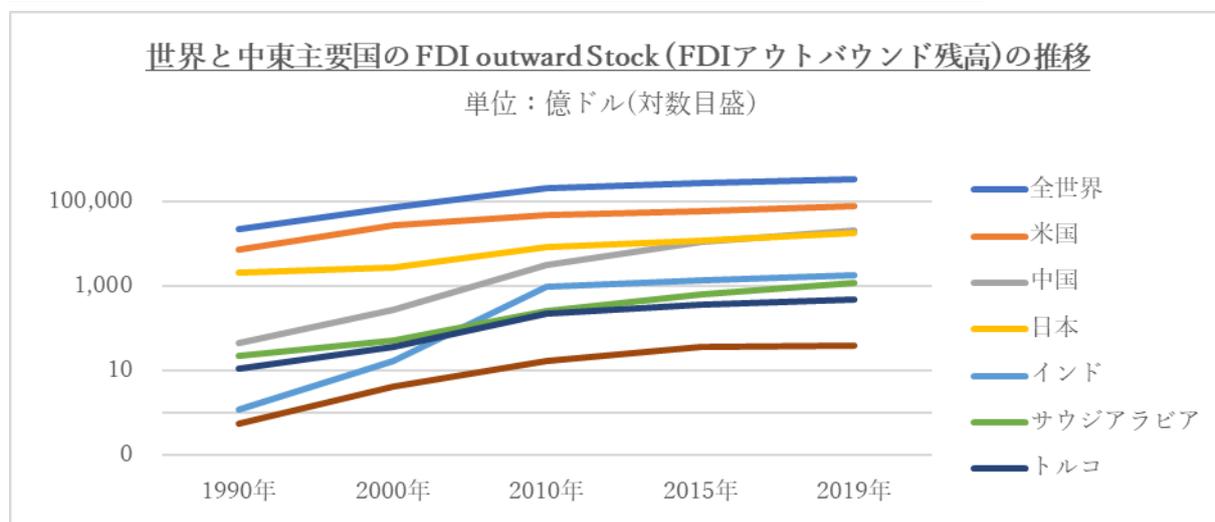
は1,800億ドルである。

ここにあげた9カ国の残高はいずれも前年(2018年)末を上回っているが、特に米国および日本はそれぞれ対前年比で20%あるいは16%の高い伸びを示しており、いずれも対外投資が順調に拡大している様子がうかがわれる。

中東諸国の中で2019年末の残高が最も多いのは UAE の1,550億ドルでありインドとほぼ並ぶ金額である。UAE に続くのはサウジアラビア(1,230億ドル)、イスラエル(1,100億ドル)である。トルコはこれら各国の2分の1以下の480億ドルであり、エジプト及びイランはいずれも100億ドル未満である。

(驚異的に増えたインドの残高！)

(2) 1990～2019年末の FDI Outward Stock (FDI アウトバウンド残高)の推移



ここでは1990年末から2019年末までの全世界並びに主要経済大国(米国、中国、日本、インド)及び中東3か国(サウジアラビア、トルコ、イラン)の FDI Outward Stock(FDI アウトバウンド残高)の推移を概観する。

世界全体の1990年末の FDI アウトバウンド残高は2.2兆ドルであった、その後2000年末には3.3倍の7.4兆ドル、2010年末には20.4兆ドルに増加、2019年末の残高は34兆ドルを超えている。全世界の FDI アウトバウンド残高は1990年から2019年までのほぼ30年間に15倍に膨張している。

国ごとに見ると世界最大の規模を誇る米国は1990年末の残高7,300億ドルが2000年末には4倍の2.7兆ドルに急増、その後も残高は順調に増え2019年末の残高は7.7兆ドルに達している。1990年からの30年間の伸び率は11倍であった。

日本の FDI アウトバウンド残高は、2,000億ドル(1990年末)→2,800億ドル(2000年末)→8,300億ドル(2010年末)→1.8兆ドル(2019年末)であり、30年間の伸び率は世界平均(15倍)を

下回る9倍である。これに対して中国の残高の推移は、50億ドル(1990年末)→280億ドル(2000年末)→3,200億ドル(2010年末)→2.1兆ドル(2019年末)であり、過去40年近い間に470倍と大幅に増えている。中国を上回る規模で残高を増やしているのがインドである。1990年にわずか1億ドルに過ぎなかった同国の FDI Outward Stock は2010年には970億ドルに膨張、さらに2019年末には1,800億ドルに達している。2019年末の残高は1990年末のその1,440倍という実に驚異的な伸びである。

サウジアラビア、トルコ及びイランの中東3か国を比較すると、1990年末の残高はサウジアラビア23億ドルで、トルコはサウジアラビアの2分の1の12億ドル、イランは2か国よりずっと低く1億ドル未満であった。その後3か国とも残高は大きく伸びたが、特にサウジアラビアの伸びが目覚ましく、23億ドル(1990年末)→53億ドル(2000年末)→265億ドル(2010年末)→1,230億ドル(2019年末)と2000年以降の伸びが目覚ましい。トルコも1990年末の12億ドルから2010年末には230億ドルとサウジアラビアとほぼおなじペースで増加したが、2010年以降は増加が鈍り、2019年末の残高はサウジアラビアの4割にとどまっている。イランは全期間を通じて残高はさほど増加せず2019年末のアウトバウンド残高は40億ドルにとどまっている。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2019年 FDI Inflows (FDI インバウンド)

2019年				2018年		2019/2018年		
世界 順位	国名	百万ドル	%	世界 順位	百万ドル	順位	増減 (百万ドル)	増減率 (%)
1	米国	246,215	16.0%	1	253,561	0	▲ 7,346	-2.9%
2	中国	141,225	9.2%	2	138,305	0	2,920	2.1%
3	シンガポール	92,081	6.0%	5	79,738	2	12,342	15.5%
4	オランダ	84,216	5.5%	3	114,306	▲ 1	▲ 30,090	-26.3%
5	アイルランド	78,234	5.1%	200	▲ 28,089	195	106,323	-378.5%
	(主要国)							
10	インド	50,553	3.3%	13	42,156	3	8,397	19.9%
12	ドイツ	36,359	2.4%	6	73,570	▲ 6	▲ 37,211	-50.6%
17	ロシア	31,735	2.1%	23	13,228	6	18,507	139.9%
24	日本	14,552	0.9%	31	9,858	7	4,695	47.6%
	(中東主要国)							
22	イスラエル	18,224	1.2%	17	20,789	▲ 5	▲ 2,565	-12.3%
26	UAE	13,787	0.9%	30	10,385	4	3,402	32.8%
32	エジプト	9,010	0.6%	33	8,141	1	869	10.7%
34	トルコ	8,434	0.5%	24	12,981	▲ 10	▲ 4,547	-35.0%
49	サウジアラビア	4,562	0.3%	46	4,247	▲ 3	315	7.4%
78	イラン	1,508	0.1%	63	2,373	▲ 15	▲ 865	-36.5%
	(全世界)	1,539,880	100.0%	—	1,495,223	0	44,657	3.0%

2019年 FDI Outflows (FDI アウトバウンド)

2019年				2018年		2019/2018年		
世界 順位	国名	百万ドル	%	世界 順位	百万ドル	順位	増減 (百万ドル)	増減率 (%)
1	日本	226,648	17.3%	1	143,161	0	83,487	58.3%
2	米国	124,899	9.5%	171	▲ 90,623	169	215,522	-237.8%
3	オランダ	124,652	9.5%	170	▲ 18,843	167	143,495	-761.5%
4	中国	117,120	8.9%	2	143,040	▲ 2	▲ 25,920	-18.1%
5	ドイツ	98,700	7.5%	5	78,813	0	19,887	25.2%
	(主要国)							
10	韓国	35,531	2.7%	10	38,220	0	▲ 2,690	-7.0%
16	ロシア	22,530	1.7%	11	35,820	▲ 5	▲ 13,290	-37.1%
24	インド	12,104	0.9%	23	11,447	▲ 1	657	5.7%
	(中東主要国)							
20	UAE	15,901	1.2%	20	15,079	0	822	5.4%
23	サウジアラビア	13,185	1.0%	16	22,987	▲ 7	▲ 9,802	-42.6%
30	イスラエル	8,566	0.7%	29	6,117	▲ 1	2,450	40.1%
42	トルコ	2,841	0.2%	37	3,607	▲ 5	▲ 766	-21.2%
62	エジプト	405	0.0%	59	324	▲ 3	82	25.2%
87	イラン	85	0.0%	87	75	0	10	13.7%
—	(全世界)	1,313,770	100.0%	—	986,351	0	327,418	33.2%

2019年末 FDI Inward Stock (FDI インバウンド残高)

2019 年末				2018 年末		2019/2018 年		
世界順位	国名	百万ドル	%	世界順位	百万ドル	順位	増減 (百万ドル)	増減 率 (%)
1	米国	9,465,835	26.0%	1	7,432,134	0	2,033,701	27.4%
2	英国	2,075,271	5.7%	3	1,930,484	1	144,787	7.5%
3	香港	1,867,936	5.1%	2	1,963,320	▲ 1	▲ 95,384	-4.9%
4	中国	1,769,486	4.9%	5	1,628,261	1	141,225	8.7%
5	オランダ	1,749,779	4.8%	4	1,685,135	▲ 1	64,644	3.8%
	(主要国)							
10	ドイツ	953,306	2.6%	9	934,445	▲ 1	18,861	2.0%
19	ロシア	463,860	1.3%	21	408,097	2	55,762	13.7%
22	インド	426,928	1.2%	22	386,172	0	40,757	10.6%
30	日本	222,527	0.6%	31	204,780	1	17,747	8.7%
	(中東主要国)							
28	サウジアラビア	236,166	0.6%	26	231,603	▲ 2	4,562	2.0%
37	イスラエル	166,229	0.5%	40	145,345	3	20,884	14.4%
38	トルコ	164,906	0.5%	39	147,268	1	17,638	12.0%
41	UAE	154,107	0.4%	43	140,319	2	13,787	9.8%
45	エジプト	126,639	0.3%	45	117,728	0	8,911	7.6%
60	イラン	57,369	0.2%	59	55,861	▲ 1	1,508	2.7%
	(全世界)	36,470,162	100.0%		32,943,943	0	3,526,218	10.7%

2019年末 FDI Outward Stock (FDI アウトバウンド残高)

2019 年末				2018 年末		2019/2018 年		
世界順位	国名	百万ドル	%	世界順位	百万ドル	順位	増減 (百万ドル)	増減率 (%)
1	米国	7,721,713	22.3%	1	6,452,718	0	1,268,995	19.7%
2	オランダ	2,565,287	7.4%	2	2,380,563	0	184,724	7.8%
3	中国	2,099,400	6.1%	3	1,982,270	0	117,130	5.9%
4	英国	1,949,442	5.6%	5	1,788,225	1	161,217	9.0%
5	日本	1,818,139	5.3%	7	1,567,161	2	250,977	16.0%
	(主要国)							
7	ドイツ	1,719,389	5.0%	6	1,651,492	▲ 1	67,897	4.1%
19	韓国	440,147	1.3%	19	405,219	0	34,928	8.6%
21	ロシア	386,622	1.1%	22	346,593	1	40,029	11.5%
31	インド	178,694	0.5%	30	166,594	▲ 1	12,101	7.3%
	(中東主要国)							
32	UAE	155,430	0.4%	32	139,529	0	15,901	11.4%
36	サウジアラビア	123,050	0.4%	37	105,063	1	17,987	17.1%
38	イスラエル	110,383	0.3%	38	103,506	0	6,877	6.6%
44	トルコ	47,754	0.1%	44	44,875	0	2,879	6.4%
65	エジプト	8,155	0.0%	64	7,750	▲ 1	405	5.2%
76	イラン	3,979	0.0%	75	3,894	▲ 1	85	2.2%
—	(全世界)	34,571,124	100.0%	—	31,507,549	0	3,063,576	9.7%